

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】令和 4 年 12 月 14 日(2022.12.14)

【公開番号】特開 2022-159108(P2022-159108A)  
 【公開日】令和 4 年 10 月 17 日(2022.10.17)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-190  
 【出願番号】特願 2022-52612(P2022-52612)  
 【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/00(2006.01)**

10

**B 3 2 B 27/18(2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 27/00 E

B 3 2 B 27/18 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 6 日(2022.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材層、透明性樹脂層及び表面保護層を有し、  
 前記表面保護層が、樹脂、紫外線吸収剤及び粒子を含有し、  
 J I S Z 2 2 4 7 : 2 0 0 6 に規定されるエリクセン試験方法に準拠して測定される  
 押込み深さが、4.0mm 以上である、  
 化粧シート。

【請求項 2】

30

前記基材層が、ポリオレフィン樹脂を含有する、請求項 1 に記載の化粧シート。

【請求項 3】

前記基材層の厚さが、40μm 以上 100μm 以下である、請求項 1 又は 2 に記載の化粧シート。

【請求項 4】

前記表面保護層における前記樹脂が、官能基数 2 以上の電離放射線硬化性樹脂の硬化樹脂を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 5】

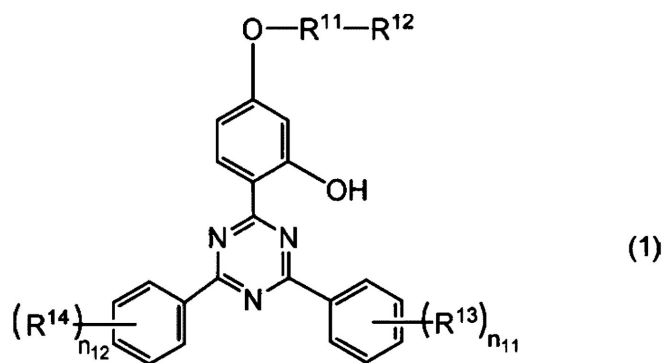
前記表面保護層における前記樹脂が、重量平均分子量が 1,100 以上 7,500 以下の電離放射線硬化性樹脂の硬化樹脂を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

40

【請求項 6】

前記紫外線吸収剤が、下記一般式(1)で示されるヒドロキシフェニルトリアジン化合物である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

## 【化 1】



10

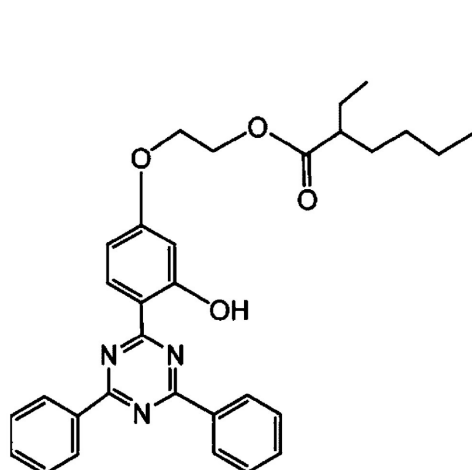
(一般式(1)中、 $R^{11}$ は単結合又は2価の有機基であり、 $R^{12}$ は炭化水素基、 $-C(=O)OR^{15}$ で示されるエステル基、 $-O-C(=O)R^{16}$ で示されるアシルオキシ基又は $-OR^{17}$ で示されるアルコキシ基であり、 $R^{13}$ 、 $R^{14}$ 、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 及び $R^{17}$ は各々独立して1価の有機基であり、 $n_{11}$ 及び $n_{12}$ は各々独立して0～5の整数である。)

## 【請求項 7】

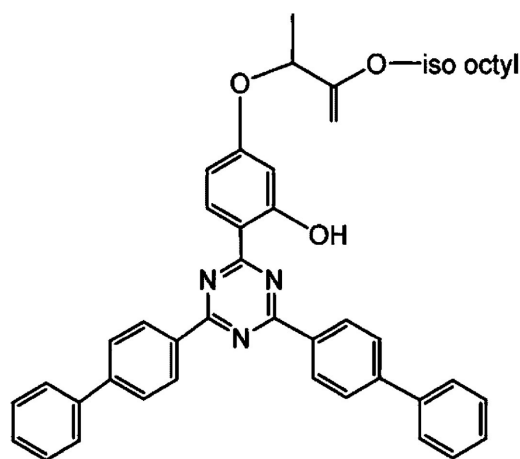
前記紫外線吸収剤が、下記化学式(2)で示されるヒドロキシフェニルトリアジン化合物A及び下記化学式(3)で示されるヒドロキシフェニルトリアジン化合物Bを含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の化粧シート。

20

## 【化 2】



(2)



(3)

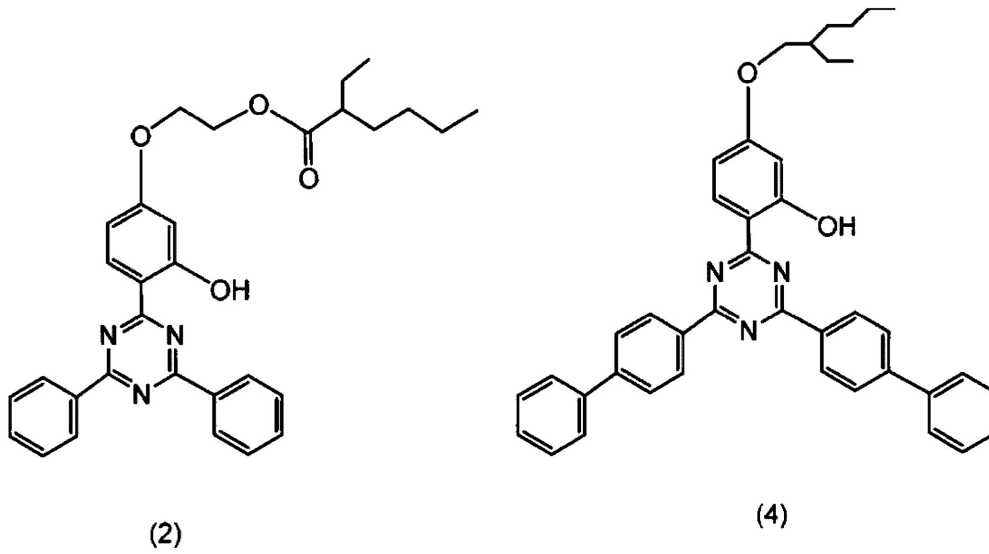
30

## 【請求項 8】

前記紫外線吸収剤が、下記化学式(2)で示されるヒドロキシフェニルトリアジン化合物A及び下記化学式(4)で示されるヒドロキシフェニルトリアジン化合物Cを含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の化粧シート。

40

## 【化 3】



10

## 【請求項 9】

前記透明性樹脂層が、ポリオレフィン樹脂を含有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

20

## 【請求項 10】

前記基材層と前記表面保護層との間に、装飾層、接着層及びプライマー層から選ばれる一以上の層を有する、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

## 【請求項 11】

被着材と、  
請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の化粧シートと、  
を有する化粧部材。

30

40

50